

# マイ笹新聞

2019  
2.25



## ★MDC★優勝者決定！！

### 1st...結果発表

先月号で告知した、MDC【マイマイドライビングコンテスト】の結果ができました。1月末から各グループの予選が行われ、32名から8名に絞られました。そして、2月初旬に準決勝が行われ、2月6日の決勝で優勝者がついに決まりました。

この大きい写真で皆さんお分かりかと思いますが。優勝者は前田インストラクターです！屋上コースでの自主練、愛車のマツダRX-8で日頃のから磨き上げた運転テクニックを駆使して優勝まで登りつめました。



「皆さんの支えのおかげで優勝を勝ち取ることができました。練習で培った運転スキルをお客様に思う存分伝えていきます。」

### バレンタインイベント



2月14日は皆さんお待ちかねのバレンタインイベントでした。当日、技能教習を受けられたお客様限定で、美人フロントスタッフから配車券と一緒にチョコをお渡ししました。皆さんのモチベーションアップに少しでも貢献できたら嬉しいです。

次のイベントは3月3日ひな祭りです。インタナシップの方々に手伝ってもらい美味しいものを皆さんにお届けします。ぜひご期待ください。



### ミニ学科 始動

学科教習を担当していないインストラクターによる学科スキル向上を目的とした【ミニ学科】が2月17日より始まりました。トッパクターに渡邊インストラクターが「徐行」について講義を行いました。大勢の社員を前に若干の緊張感があったものの、笑いあり、涙ありの体育会系の彼だからこそできる情熱的な学科を披露してくれました。脳に直接響く低く美しい渡邊インストラクターの声で早く皆さんに講義をお届けできるようこれからも精進して参ります。



### 今日の話題⑥

皆さん、こんにちは。「空飛ぶ車」。幼い頃に夢に見た漫画や映画の世界が現実になるうとして。愛知県豊田市を主な拠点に活動する技術者団体「カーティベーター」が、人を乗せて空を移動する「空飛ぶ車」を、2030年をめどに2千万円台で販売する目標を明らかにした。超高級車程度の価格にして普及を図る。大学や研究機関、富裕層など限られた顧客に2023年頃から売られる機体は5千万円台を目指す。生産設備などを整え、2026年に30キロを飛行できる機体の量産を始める方針だという。開発しているのは道路を3輪のタイヤで走行し、向きを変えられるプロペラで垂直に離着陸する陸空両用の機体とのこと。空飛ぶ車の活用方法として、「物の移動」「地方での人の移動」「都市での人の移動」を挙げている。他にも「災害対応」「救急」「娯楽」などに活用されることが想定されている。こうした構想を具体化し、日本における新しいサービスとして発展させていくためには、「民」の将来構想や技術開発の見通しをベースに、「官」が、民間の取り組みを適時適切に支援し、社会に受容されるルールづくりなどを進めていくことが重要になります。さて、それでは空飛ぶ車を運転するために必要な免許は何が必要か。自動車の運転免許は間違いなく必要で、飛行機を操縦するための「家用操縦士免許 固定翼」という免許が必要になるとのこと。さらに、実際に飛行するとなれば、管制塔や他の航空機と交信する必要があるため、航空特殊無線技士か航空無線通信士の資格も取得しなければならぬらしい。他にもいろいろ必要になりそうだ。法律の整備も必要である。まだまだ課題は多くありそうだ。私たち一般市民には当分関係のない話かもしれない。しかし、空飛ぶ車が登場したときにびっくりしないためにも、知識を身につけておく必要はありそうだ。未来を見据えた世の中の動きに注目しながら、今を交通事故が起きない社会にしなければならぬ。